

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-535026 (P2004-535026A)
 【公表日】平成 16 年 11 月 18 日 (2004.11.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-045
 【出願番号】特願 2003-512915 (P2003-512915)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/044 (2006.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/03 3 3 5 E

G 0 6 F 3/03 3 8 0 M

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

タッチセンサに電氣的に接続されるタッチセンサスイッチと、前記タッチセンサから分離しており第 1 信号で駆動される第 1 利用者接触点と、前記第 1 利用者接触点に電氣的に接続される第 1 利用者接触点スイッチと、前記タッチセンサスイッチおよび前記第 1 利用者接触点スイッチに電氣的に接続される電源と、を備える、タッチセンサ上のタッチに関連する情報を決定する装置であって、前記タッチセンサ上の前記タッチは、前記第 1 信号の少なくとも一部を前記タッチスクリーンに転送し、前記タッチセンサは、前記タッチセンサ上の前記タッチに関連する情報を決定するために転送された第 1 信号を使用するように構成される、装置。

【請求項 2】

利用者は、前記第 1 信号を転送するために前記タッチセンサおよび前記第 1 利用者接触点の両方をタッチする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記タッチに関連する前記情報は、前記タッチセンサ上のタッチ位置を含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記タッチセンサから分離している第 2 利用者接触点をさらに備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記第 2 接触点は、前記第 1 信号から一意的な第 2 信号で駆動される、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記タッチに関連する前記情報は、前記第 1 信号または第 2 信号が前記タッチセンサに転送されるかどうかを識別することを含む、請求項 5 に記載の装置。

【請求項 7】

前記第 1 利用者接触点は、前記装置の雑音を低減する保護信号で駆動される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 8】

タッチセンサスイッチに関連するタッチセンサ上のタッチに関連する情報を決定する方法であって、

前記タッチセンサから分離しており第 1 接触スイッチと関連する第 1 接触点を第 1 信号で駆動することと、

前記タッチセンサスイッチおよび前記第 1 接触スイッチの状態に基づいて前記タッチセンサ上のタッチを介して前記タッチセンサに転送された前記第 1 信号を検出することと、

前記転送された第 1 信号を使用して前記タッチに関連する情報を決定することと、
を有する、方法。

【請求項 9】

第 2 信号で第 2 接触点を駆動することをさらに有する請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 1 信号または第 2 信号が転送されたかどうかに基づいて、前記タッチセンサへのタッチ入力を識別する工程をさらに含む、請求項 9 に記載の方法。